

市民活動支援へ情報交換会設立

4市センターが連携

NPOや市民団体、自治会などの活動を支援する中濃地域の四つの公設市民活動支援センターが、それぞれの取り組みや実績などについて共有する定期的な情報交換会を立ち上げた。第一回会合が関市千年町の安桜ふれあいプラザで開かれた。

(織田龍穂)

実績共有 向上目指す

構成団体は、関市市民活動センター、みのりセンター(美濃加茂市)、郡上市市民協働センター、かにNPOセンター(可児市)の四つ。これまで各センター間での交流は、ほとんどなかった。関市市民活動センターの北村隆幸事務局長(左)は「それぞれセンターで得意分野や良いサービスがある。良いところを教え合えば、サービス向上にもつながる」と期待する。



情報交換会で各センターの取り組みなどについて話し合う参加者＝関市千年町の安桜ふれあいプラザで

野に入れる。四センターが合同でお金を出せば」と話した。

ば、一団体では高い講師料も低く抑えられるからだ。

北村事務局長は「参加団体の四市は気軽に移動できる範囲。将来的には、各市のNPOや団体が集う交流会などにもつなげていければ」と話した。

ある。他団体と話し合うことで、自分たちの活動の振り返りにもなり、大変有意義」と手応えを話す。

会合は年四回のペースで開催予定で、職員のスキル向上に向けた合同の講習会なども視